



まるまったホースや大きなタイヤなど、しょうぼう車を近くで見たときの「大きいな」「すごいな」という思いがいきおいのあるクレヨンの線で、のびのびとあらわされています。

「しょうぼうしゃ」

小樽市 鏡函小学校1年生 瀬下 睦未さん



「私はここだよ」海ぞく公園で元気に遊ぶ夏音さんの声が聞えてきます。海ぞく船の様子がひとつひとついいねいに描かれ、本物の船のように、今にも動き出しそうです。

「楽しい海ぞく公園」

芦別市 上芦別小学校3年生 柴泉 夏音さん



重なった様子をとらえながら、葉をたくさん表現することで、大きく育ったナスを取獲する喜びが伝わってきます。白と黒のバランスが絶妙な木版画作品です。

「ナスの収穫」

芽室町 芽室南小学校4年生 小縣 紗奈さん



卵のからに四季を表現するという発想力の豊かさには驚かされます。それぞれの季節に描かれた琉碧さんの好きなものや好きなことから、楽しいお話が聞えてくるようです。

「春と夏と秋と冬のせかいランド」

苫小牧市 拓進小学校2年生 尾形 琉碧さん



ザーっという水の流れる音が聞こえてきます。青の上から白を塗り、細かく絵具を跳ばしたことで、川の流れや水しぶき、水の透明感がよく表現されています。

「盤溪川の水しぶき」

札幌市 盤溪小学校5年生 皆川 真愛さん



白い老木と鼻を中心に据え、一部が欠けた白いバズルの大地を近景に、雲間から見える地球を遠景に描いています。思春期の精神世界が、緻密なタッチと色彩で表現されています。

「パズル」

札幌市 厚別南中学校3年生 堀内 風汰さん



画面下に大きく手すりを描き、上になるほど木を小さく描くことで、遠近を巧みに表現しています。人工的な川の護岸と一本一本丁寧に描かれた生い茂る草の対比から、自然の豊かさが伝わる作品です。

「自然がたくさん」

浜頓別町 浜頓別小学校6年生 依田 夏凜さん



冬の雲、色の無い山々、河川敷に積もる雪、強い風にゆれる木々。自分が暮らす地域の厳しい冬の川の情景が、描く場所に応じた筆のタッチで表現されています。

「冬の新十津川」

新十津川町 新十津川中学校1年生 松原 里夢さん



細かな筆づかいで細部まで描かれた昆虫と透明な翅の姿で、幻想的な作品になりました。赤と緑の配色や、大きな翅の構図が見事な作品です。

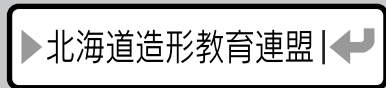
「翅」

釧路市 北海道教育大学附属釧路中学校2年生 牛木 乙帆さん

第41回教育美術展 作品寸評から。。。

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索



<目 次>

- ・第41回教育美術展奨励賞作品 1〈表紙〉
- ・北海道造形教育連盟会長挨拶 2
- ・函館・渡島大会に寄せて 3
- ・第65回全道造形教育研究大会 函館・渡島大会 ... 4~5
- ・プロジェクトZ 6
- ・活動報告 7
- ・第42回教育美術展応募要項について 8



北海道教育連盟報

No.140 2015.7.1発行
 発行 北海道造形教育連盟
 会長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)
 事務局長 阿部 時彦 (札幌市立定山溪中学校長)
 事務局 札幌市立定山溪中学校
 〒061-2303
 札幌市南区定山溪温泉西1丁目31番地
 TEL(011)598-2460・FAX(011)598-4576



新たな風が～函館から～

北海道造形教育連盟

会長 **三井 哲**
(札幌市立北白石小学校長)

今年、小学校学習指導要領が全面実施された平成23年から5年目を迎え（幼稚園は平成21年度から全面実施）、現行の指導要領実施の折り返し点の年になります。現行指導要領により、『言語活動の重視』から鑑賞活動を充実することや、『共通事項の新設』により「A表現」「B鑑賞」に共通して働く資質や能力を示し小中学校の滑らかな接続をさせること、『感性をはたらかせ』ることによりより子どもの感じ方を大切にした指導をすること等が求められました。これらの観点は中学校学習指導要領（平成24年度から全面実施）にも引き継がれ、私たちの授業づくりの大切な要素になってきました。

この間に、私たちは『わたしを創る～自立と共生の造形教育をめざして～』を研究主題として、各サークルがそれぞれのアプローチで授業を提案し、互いに学び合い、成果を共有してきました。私たちは、今年度の一つの節目ととらえ、研究の到達点を確認し、これからの造形教育の在り方や進め方について議論していきたいと思えます。私たちの北海道造形教育連盟の使命を端的に表現するならば、「授業を改善して子どもたちに豊かな情操を養い『生きる力』を育むこと」にあると思えます。私たちは、図工や美術等の授業を通してどの子にも豊かな情操を養ってきたか？各校種で育てたい資質や能力を育んできたか？そのために、どれほど質の高い授業をすることができたのか？などを問い返し、もし足りないことや問題があるならば、どのようにしてそれを乗り越えるのか？を互いに学び合いたいと思うのです。

平成26年11月に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」諮問されました。その中で注目されることは、『「何を教えるか」という知識の質や量の改善に加え、「どのように学ぶか」という、学びの質や深まりを重視する』ことにより『課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）や、そのための指導の方法等』の充実を求めていることです。このことは、授業を「教える側（教師）」からだけではなく、もっと「学ぶ側（児童・生徒）」から考えることを私たちに強く促し、協働的な学びの中で全ての子どもが主体的に学ぶ姿を期待していると思います。新指導要領に関わる情報は、これからますます増えていくことと思えますので、造形教育にどのような影響があるのか、また、私たちの実践にどのように取り込んでいくのかを考えながら、注目していきたいと思えます。

このような状況の中で、私たちは、授業の中で表れる子どもたちの真剣な目の輝きや喜びの表情、思わずこぼれるつぶやきや仲間とのさりげない対話等に注意をはらい、子どもたち一人一人の思いに寄り添い、思慮深く関わり、全ての子どもが造形活動の楽しさや素晴らしさを味わうことができる授業を追究していきましょう。そして、造形教育に関わる私たちの成果や喜びそしてロマンを多くの仲間に伝え、分かち合い、各サークルを強くしていきましょう。

今、私たちに追風が吹いています。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)
- 副会長 土谷 敬 (函館市立湯川小学校長)
- 副会長 橋詰 博 (札幌市立簾舞中学校長)
- 副会長 小野三枝子 (厚岸町立太田小学校長)
- 副会長 池田 元治 (石狩市立浜益小学校長)
- 副会長 菅原 良和 (旭川市立嵐山小中学校長)
- 監査 仲井 靖典 (函館市立的場中学校)
- 監査 伊藤 正敏 (札幌市立清田小学校長)
- 事務局長 阿部 時彦 (札幌市立定山溪中学校長)
- 会計 加藤 雅子 (札幌市立栄東小学校長)
- 会計次長 東 尚典 (札幌市立三里塚小学校)

- 事務局次長 八田 博之 (札幌市立富丘小学校)
- 事務局次長 福島由紀子 (札幌市立円山小学校)
- 事務局次長 高橋久美子 (札幌市立発寒中学校)
- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立啓明中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立拓北小学校)
- 副部長 森實 祐里 (札幌市立星置東小学校)
- 副部長 館内 徹 (札幌市立あやめ野中学校)
- 副部長 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校)
- 副部長 中村 珠世 (道教大附属札幌小学校)
- 庶務部長 本間 真理 (札幌市立西園小学校)
- 副部長 森 久根 (札幌市立太平小学校)
- 広報部長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校)
- 副部長 小林 知広 (札幌市立手稻山口小学校)



函館・渡島大会に寄せて

北海道造形教育連盟
研究部長 湯 浅 大 吾
(札幌市立拓北小学校)

第65回全道造形教育研究大会函館・渡島大会の開催おめでとうございます。

私にとって函館の地で開催される全道造形教育研究大会には、特別な思いがあります。

一つ目は全く個人的なことではありますが、教員になって初めて参加した全道造形教育研究大会が、第42回全道造形教育研究大会函館大会だったことです。会場校がたくさんの先生方であふれ返っている光景に、まだ北海道造形教育連盟の一員ではなかった私は、「こういう世界もあるんだ。」と大変驚いたことを覚えています。今の私があるのも、その経験が一つの原体験となっています。

二つ目は、渡島と檜山が後援として支えた第60回全道造形教育研究大会函館大会です。この大会には、当時の文部科学省教科調査官の奥村高明先生が参加されました。凄いことだと思っていたら、さらに、当時の全国造形教育連盟委員長の永関和雄先生と日本美術教育連盟理事長の岩崎由紀夫先生も参加されていました。翌年に全国造形教育連盟と日本美術教育連盟の共同開催による、全国図画工作・美術教育研究大会北海道大会in札幌が開催されたことを考えると、日本の造形教育の歴史的に見ても大変意義のある大会となりました。

また、こんなことも思い出です。この第60回全道造形教育研究大会函館大会に向けて授業者と提言者が集められた会議に、北海道の研究主題の説明を依頼され参加した時のことです。会議の後、函館市美術教育研究会の新年会があり、それにも参加させていただきました。その会に参加して驚いたのは、OBの先生方の数の多さでした。会の中でOBの方が、「他のことは自分たちがやる。大会づくりに専念しなさい。」とエールを送っていたのが印象的でした。函館の造形教育は熱い思いをもったたくさんの人々に支えられ、脈々と受け継がれているのだと実感しました。

"わたし"を創る

～自立と共生の造形教育をめざして～

この北海道造形教育連盟研究主題で全道造形教育研究大会を開催するのも、今回で7回目になります。そして、次年度の札幌大会は、新しい研究主題の下開催される予定です。つまり、第65回全道造形教育研究大会函館・渡島大会は、現研究主題で開催される最後の大会となります。今大会の成果と課題が、現研究主題の総括となり、また、新しい研究主題設定の端緒ともなってきます。ぜひ、分科会研究協議の中では、授業や提言に対する良し悪しというレベルではなく、子どもの姿で語ってください。授業者のこの手立てが子どもの資質能力を發揮させていたとか、こういう手立てをとるとこういう資質能力が育つのではないかなど、授業改善の視点で協議が進むことを期待しています。これは、今大会の研究内容に設定されている

造形教育を見つめなおす5つの視座

の1つ目の中にある

北海道はひとつの地域、チームとして、
造形教育をとらえよう

にもつながります。

今大会の会場にいる皆さんが、「北海道の造形教育力をあげるのだ」「北海道の先生方の授業力をあげるのだ」という視点をもって参加されるとき、第65回全道造形教育研究大会函館・渡島大会は、本当の意味で成功を収めることができるのだと思います。



第65回全道造形教育研究大会 函館・渡島大会

大会テーマ・研究主題

夢・つくる・人～未来はぐくむ造形教育～

日程

期日：平成27年7月29日(水)・会場：函館市立弥生小学校

8:30	9:00	9:50	10:15	11:00	12:30	13:30	16:00	18:00
受付	公開授業Ⅰ (幼・中) 夢ツリープロジェクト 公開授業Ⅱ (小)	移動	開会式 全体会 概要説明	講演 村上尚徳氏 (環太平洋大学 次世代教育学部教授)	昼食	分科会 研究協議	移動	全道地区交流 ・開会式 (五島軒本店)
	9:15		10:00					

分科会／公開授業／提言

講演

演題 「感性や創造性をはぐくむ造形教育」

講師 環太平洋大学次世代教育学部 教授

村上尚徳氏

プロフィール 岡山市公立中学校教諭、岡山県教育庁指導課指導主事、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官、及び国立教育政策研究所教育課程調査官を経て、平成23年度より現職。平成10年小学校学習指導要領図画工作作成協力者、及び平成20年の中学校美術、高等学校芸術(美術・工芸)の学習指導要領作成を担当。

研究概要

- ◆ 5つの視座から造形教育を見つめます。
 - 1 「私たち、北海道のクリエイター」としての造形教育
 - ・北海道はひとつの地域、チームとして造形教育をとらえよう。
 - ・北海道的な特色ある造形活動の実践・交流を行おう。
 - 2 夢つくる「北の2つのクリエイター」としての造形教育
 - ・「夢つくる人(子ども)」～自分の夢をたずさえ、将来へはばたく人
 - ・「夢つくる人(教師)」～子どもたちの夢を広げ、将来をはぐくむ人
 - 3 「夢・思い」を「とらえる・みつめあう・つなぐ・つむぐ・育む・実現する…」造形教育
 - 4 思考と活動の上に成り立つ造形教育
(想像する力 構想する力 創造する力 表現する力 鑑賞する力 感性・個性などを育む)
 - 5 社会・地域に生きる子どもたち 未来に生きる子どもたち
子どもたちとともに深め合う造形教育

◆ 3つの研究実践のポイント

1. 素直な造形～子どもの気持ち
 - 子どもの夢の多面的な発想・構想・創造を語ろう
 - ・子どもの気持ち、夢にそった造形教育とは、どのようなものかを発想・構想・表現・鑑賞などから多面的に考える。
2. 育む造形～学びの気持ち
 - 授業づくりを研修・研鑽しよう
 - ・教師の学びと授業づくりを軸として、教科書題材や教材開発などの実践上の課題や工夫、目標の実現状況を捉える評価や指導方法等、授業力の高め方などについて考える。
3. ひろがる造形～つながる気持ち
 - 地域や人、他分野とのつながりを考えよう
 - ・北海道のネットワーク、地域の人々や社会との出会い、他分野とのコラボレーションなど、ひろがり・つながりの造形を考える。

A 素直な造形～子どもの気持ち 分科会	B 育む造形～学びの気持ち 分科会	C ひろがる造形～つながる気持ち 分科会
○子どもの夢の多面的な発想・構想・創造を語ろう	○授業づくりを研修・研鑽しよう	○地域や人、他分野とのつながりを考えよう

分科会	公開授業・授業者	提言者・提言テーマ	助言者	運営者・司会者	記録者
A-1	「カラフルねんどで」 (立体に表す) (小1) 石岡 寿子/船橋 恭二 七飯町立七重小学校	小規模校での陶芸粘土を 使った作品づくり (全学年) 前小屋 学 函館市立本通小学校	夢をかたちにできる 「美術」の魅力(中2) 中村 悠子 新篠津村立新篠津中学校	大橋 功 岡山大学教授	後藤 征秀 函館市立亀田中学校 宮川 典子 鹿部町立鹿部小学校
A-2	「つながる青函、伝えよう魅力」 (中2) 木村 麻枝 函館市立桐花中学校	「bookカバーのデザイン」 (中3) 濱地 文恵 函館市立港中学校	「墨絵の国へ ～想像力を働かせて～」 (小5) 栗林 友恵 旭川市立神居東小学校	西岡 裕英 北海道立教育研究所 企画・研修部指導主事	九千房 政光 北斗市立浜分中学校 長峰 詠子 函館市立西中学校
B-1	「想像の塔」 (小3) 赤坂 巖男 函館市立青柳小学校	「ビッグネームカード」 (小5) 松田 恭子 函館市立中の沢小学校	「色の列車をつくろう」 美術専科ができること (中1) 齊藤 悦子 北斗市立上磯中学校	橋本 忠和 北海道教育大学 函館校教授	岩館 こすえ 函館市立赤川中学校 加賀 幸来 函館市立深堀小学校
C-1	「しかべ・アース・アート～ 人がつながるアートの空間」 (中3) 藤本 大介 鹿部町立鹿部中学校	「母校の歴史に名を刻め」 のその後(中3) 櫻井 純 函館市立的場中学校	「ひろがる造形 ～つながる気持ち(仮題)」 (小6) 中川 治 札幌市立本郷小学校	花輪 大輔 北海道教育大学 札幌校講師	高島 純 七飯町立大沼中学校 鈴蘭谷分校 森 泰司 函館市立光成中学校
A-3	「花火が ドドン！」 (年長) 清水 里奈/白幡 久姫 函館短期大学付属幼稚園	「つくる・ひろがる ・かかわる 楽しさ」 藤谷 貴代 北海道教育大学附属 函館幼稚園		堤 勝幸 函館市教育委員会 教育指導課指導主事	山下 清江 函館市立はこだて幼稚園 渋谷 恵 函館市立戸井幼稚園 渡辺 香 元町白百合幼稚園
C-2	アートプロジェクト公開 北海道 夢ツリープロジェクト 函館・渡島大会研究部 弥生小学校児童/市内美術部生徒	地域の美術館とつながりひろ がる～発想を得て表現し、 発表しよう～ (中3) 更科 結希 北海道教育大学附属 釧路中学校	「チーム北海道」を形に ～人と人のつながりづくり～ 館内 徹 札幌市立あやめ野中学校	佐藤 昌彦 北海道教育大学 札幌校教授	富尾 拓 北海道教育大附属 函館中学校 仮 直人 北斗市立浜分小学校

北海道 夢ツリー プロジェクトへも ご協力ください!

参加申し込みについて

- ◎大会参加費 / 4,000円
- ◎締切 / 平成27年7月8日(水)
- ※ 参加申し込みは、下記URLよりお申し込みください。

【 <https://v3.apollon.nta.co.jp/zoukei-hakodate> 】

問い合わせ先：大会事務局 / 〒041-0601 函館市新八幡町86番地1
函館市立榎法華小学校内 木村 伸仁
TEL: 0138)86-2051 FAX: 0138)86-2053



平成26年11月5日(水) 会場：室蘭市地球岬小学校 参加人数：12名
 主催：室蘭市教育研究会図工美術研究会 講師：石川 早苗 (札幌八軒東中)
 研修内容：アートカードを活用した実技講習会
 ①アートカードゲーム
 ②対話による美術作品鑑賞

平成26年11月28日(金)
 会場：北見市立西小学校 参加人数：12名
 主催：オホーツク造形教育連盟
 講師：湯浅 大吾 (札幌拓北小)
 研修内容：アートカードを活用し鑑賞
 ①アートカードゲーム
 ②対話型による鑑賞と評価



昨年度はアートカードを活用した鑑賞についての研修会を開催しましたが、研修会の内容については、各地区のご要望にお応えしていきたいと思っております。教育美術展についての内容でもご相談いただければ・・・と思っています。

プロジェクト



平成26年12月8日(月)
 会場：小樽入船小学校 参加人数：17名
 主催：小樽市教育研究会図工美術部会
 講師：湯浅 大吾 (札幌拓北小)
 研修内容：教育美術展の審査基準を基にした
 子どもの絵の見方
 ①奨励賞作品に寸評をつけてみよう
 ②アートカードを使ったゲームと対話による鑑賞

今

年度もあなたのサークルへ！ うかがいます！

みなさんで 造形の絆を深めましょう！！

問い合わせは...

北海道造形教育連盟 研究部長

湯浅 大吾 まで...

連絡先:札幌市立拓北小学校

Tel011-772-7035 Fax011-772-5846

帯広市教育研究会 図工美術部会

帯広市立西陵中学校 梅津 美香

帯広市教育研究会・図工美術部会は、今年度71名で活動しています。

4月の結成大会の他、年3回（6・10・2月）の部会では、作品交流研修を行っています。6月・2月部会は小中学校別の作品交流、10月部会は小学校の先生を対象としたミニ実技研と小中合同作品交流研修を企画しています。

作品交流研修は、本部会を支える大事な研修となっています。日ごろの実践の悩みを交流し、他校の良い実践を、子どもたちの授業に活かすことができています。

その他にも、毎年11月にはJR帯広駅地下にある「帯広市民ギャラリー」で帯広市小中学校造形展を実施しています。この作品展は、今年度で45回を迎えます。市内全ての小中学校と特別支援学校小中学部併せて43校が出品し、毎年約2000点の作品を展示しています。

昨年度は6日間の会期で2761人の皆様にご来場頂きました。

今年度の課題は中学校間の交流です。週1時間と少ない時数の中、年3回の作品交流だけでなく、実践に関する悩みや課題の交流を行うこと、そしてここ数年で増えてきた美術系部活動の交流活動などについて取り組んでいきたいと考えています。



留萌地方美術教育研究会

天塩町立天塩小学校 野島 操

留萌地方美術教育研究会は、昭和44年に「全留萌子どもの作品を語る会」として発会しました。今年度は「喜びひろがる心つながる造形教育」を研究テーマに活動しています。少子化に伴い本管内の学校数は小中学校合わせて29校となりましたが、本会は小10名、中6名の合計16名の会員で活動する、平均年齢42歳の会です。

昨年度は「第64回全道造形教育研究大会 上川・旭川大会」があり、その造形まつりでワークショップの協力をするようになったことから、「ビーチコーミング」をテーマに事前に研修会を行いました。南北に長い海岸線をもつ本管内において、地域素材を再発見する充実した活動となりました。また、隔年で発行している版画集「版」17集を発刊し、留萌管内の子どもの造形活動の足跡を残すことができました。



今年度は、天塩町立天塩中学校を会場に、第45回留萌管内造形教育研究大会を行います。授業研究とともに、本会が大切にしている「子どもの作品を語る会」も行い、教員力アップにつなげていきたいと思ひます。



第42回北海道教育美術展

作品募集のお知らせ

応募の対象

☆道内の幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校に在籍する園児、児童、生徒

応募の規定

☆絵画や版画、デザイン画などの作品で学校（園）を窓口として応募する。

☆大きさ：小学校以下 四つ切り（それ以下は四つ切りの台紙に貼る）

中学校 八つ切りから四つ切りまで（八つ切り以下は台紙に貼る）

☆今年度内に作成された作品で一人1作品の出品とし、作品裏面に応募票を貼る。

（応募票は剥がれ落ちないようにしっかりと固定してください。）

～作品規定～

- 積み重ねてもつぶれない、かさばらないこと
- 接着が頑丈で剥がれたり外れたりしないこと
- 画鋏展示ができる重量であること

問い合わせ 札幌市立富丘小学校 八田博之
TEL：011-683-3791 FAX：011-683-4974

◇審査研修会と一緒に参加しませんか？◇

12月27日（日）、28日（月）の二日間、札幌市立新陵東小学校で審査研修会が行われます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからもたくさんの先生方が審査研修会に参加されています。全道から集まった2万点近くの作品を見ることを通じて実践について研修し合う絶好の機会です。

締切・送付先

☆平成27年12月16日→締め切りに間に合うようにご応募ください。

☆〒006-0805 札幌市新発寒5条4丁目2番1号

札幌市立新陵東小学校 北海道教育美術展係 宛

北海道教育美術展

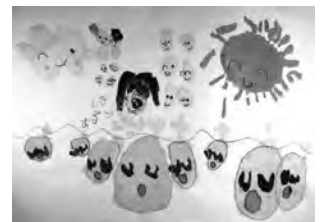
会期：平成28年1月7日（木）～11日（月）

会場：道新ぎやらりー（札幌市中央区大通西3丁目）

○主催：北海道造形教育連盟・北海道新聞社

○後援：北海道教育委員会

○協賛：サクラクレパス・RISO



あ と が き

「北海道のステキ」を感じる季節となってきました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。2015年度がスタートしました。4月の総会を経て、今月末には函館・渡島大会が開催されます。『北海道新幹線』で盛り上がる函館地区。その勢いを造形のステキさをもって全道そして全国へと広げていければ・・・と願っています。函館・渡島大会でみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

最後に、連盟報発行にあたり、快く原稿執筆にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

<北海道造形教育連盟 広報部> 櫻田 悟・小林 知広・松本 和彦